

2 中 学 校

生徒数 30,076 人で、過去最低
長期欠席者数は増加

表 6 中学校の推移

(単位：校、級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1学級当たり		教員1人当たり		女子教員 の占める 割合
			生徒数	対前年度 増減率	教員数	対前年度 増減率	生徒数 C/B	対前年度 増減数	生徒数 C/D	対前年度 増減数	
平成14	86	1,012	32,590	3.9	2,151	0.2	32.2	0.5	15.2	0.5	48.4
15	86	990	31,730	2.6	2,142	0.4	32.1	0.1	14.8	0.4	48.4
16	85	963	30,835	2.8	2,093	2.3	32.0	0.1	14.7	0.1	48.2
17	86	956	30,402	1.4	2,092	0.0	31.8	0.2	14.5	0.2	48.0
18	86	955	30,076	1.1	2,085	0.3	31.5	0.3	14.4	0.1	47.4
国立	1	12	471	0.2	22	4.3	39.3	0.0	21.4	0.9	27.3
公立	84	936	29,383	1.5	2,051	0.5	31.4	0.3	14.3	0.2	47.7
私立	1	7	222	133.7	12	50.0	31.7	0.0	18.5	6.6	41.7

(1) 学校数

学校数は前年度と同数の 86 校（本校 86 校）となり、このうち休校は 1 校（本校 1 校）であった。

設置者別にみると、国立が 1 校、公立が 84 校、私立が 1 校となっている。

市町村別では、富山市 28 校、高岡市 12 校、南砺市 9 校等となっている。

学級数別学校数をみると、10 学級が 10 校で最も多く、次いで 7 学級が 9 校となっている。

(表 6、統計表 21、23)

(2) 学級数

学級数は 955 学級で、前年度より 1 学級減少した。

編制方式別にみると、単式学級が 882 学級(構成比 92.4%)、75 条の学級が 73 学級(同 7.6%)となっている。

1 校当たりの学級数は 11.1 学級(前年度 11.1 学級)で、全国の 10.8 学級を上回っている。

(表 6、統計表 22)

(3) 生徒数

生徒数は 30,076 人(男子 15,324 人、女子 14,752 人)で、前年度より 326 人(1.1%)減少した。これはピーク時(昭和 37 年度、88,658 人)の 33.9%で過去最低となっている。

学級編制方式別にみると、単式学級生徒が 29,896 人、75 条の学級生徒が 180 人となっている。

市町村別では、富山市 11,557 人、高岡市 4,752 人、射水市 2,553 人の順に多い。対前年度増減数をみると、高岡市 138 人(2.8%)、南砺市 99 人(6.1%)、氷見市 45 人(3.1%)、黒部市、入善町がそれぞれ 40 人(黒部市 3.4%、入善町 5.0%)など 9 市町村で減少している。前年度より増加したのは、富山市 54 人(0.5%)、砺波市 38 人(2.8%)、滑川市 27 人(2.9%)など 5 市町村であった。舟橋村は前年度と同数の 114 人(0.0%)となった。

平成 17 年度 5 月 1 日以降に合併をした市町村の対前年度生徒増減数、増減率については平成 17 年度の市町村別生徒数を合算し、合併後の市町村生徒数に換算して計算した数値である。

1 校当たりの生徒数は 349.7 人(前年度 353.5 人)で、全国の 327.6 人を上回っている。

1 学級当たりの生徒数は 31.5 人(前年度 31.8 人)で、全国の 30.4 人を上回っている。

(表 6、7、統計表 25、36)

表 7 男女別及び学年別生徒数の推移

(単位：人)

年度	計	男子	女子	1 学年	2 学年	3 学年
平成14	32,590	16,669	15,921	10,456	11,099	11,035
15	31,730	16,299	15,431	10,188	10,458	11,084
16	30,835	15,790	15,045	10,211	10,175	10,449
17	30,402	15,596	14,806	10,047	10,181	10,174
18	30,076	15,324	14,752	9,846	10,051	10,179

(4) 教員数及び職員数

教員数(本務者)は 2,085 人(男子 1,096 人、女子 989 人)で、前年度より 7 人(0.3%)減少した。教員総数に占める女子教員の割合は 47.4%となっている。

1 教員当たりの生徒数は 14.4 人(前年度 14.5 人)で、全国の 14.5 人を下回っている。

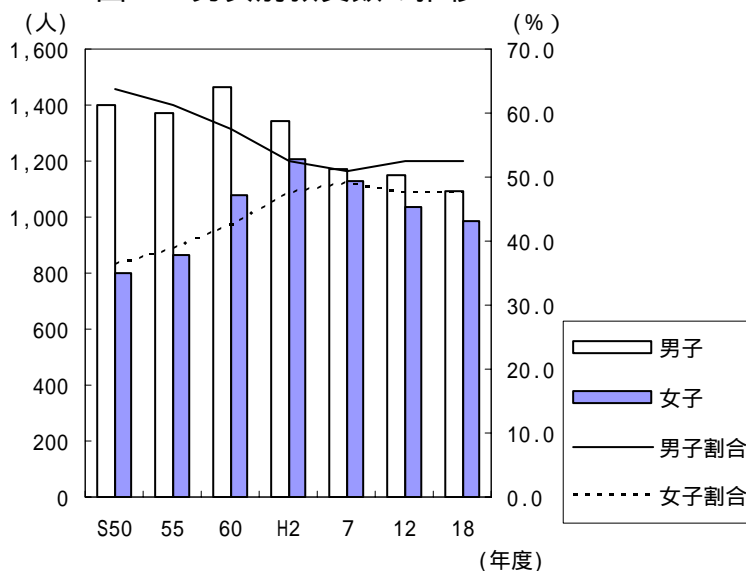
1 校当たりの教員数は 24.2 人(前年度 24.3 人)で、全国の 22.6 人を上回っている。

職員数は 387 人で、前年度より 14 人減少した。(表 6、8、図 4、統計表 30、34)

表 8 男女別教員数 (単位：人)

年度	計	男	女
平成 14	2,151	1,109	1,042
15	2,142	1,106	1,036
16	2,093	1,084	1,009
17	2,092	1,088	1,004
18	2,085	1,096	989

図 4 男女別教員数の推移



(5) 理由別長期欠席者数

平成 17 年度間の 30 日以上長期欠席者数は、平成 16 年度間より 49 人 (5.9%) 多い 885 人で、理由別では「不登校」が 767 人 (構成比 86.7%) で最も多く、次いで「病気」が 73 人 (同 8.2%)、「その他」が 45 人 (同 5.1%) となっている。

全生徒数に占める長期欠席者の比率は、全国より 0.64 ポイント低い 2.91% で、低い順に全国第 11 位 (前年度第 5 位) であった。

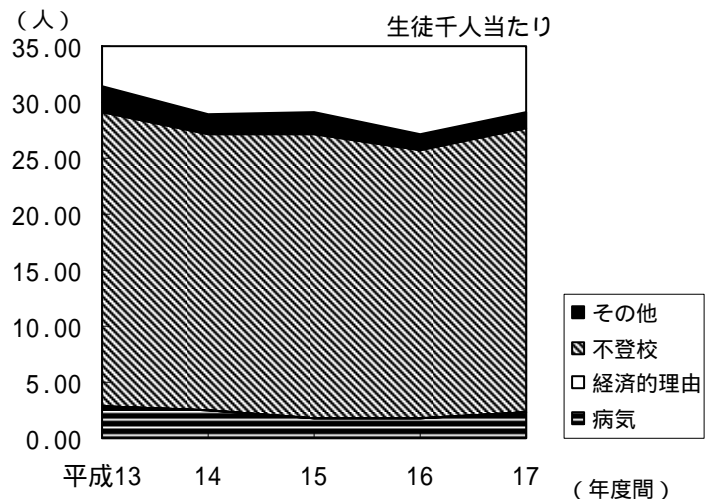
また、全生徒数に占める「不登校」の比率は、全国より 0.23 ポイント低い 2.52% で、低い順に全国第 15 位 (前年度第 12 位) であった。 (表 9、10、図 5、6、統計表 27)

表 9 理由別長期欠席者数(単位:人)

年度間	総数	欠 席 理 由			
		病気	経済的 理由	不登校	その他
平成13	1,063	95	1	893	74
14	945	81	1	805	58
15	922	57	-	805	60
16	836	55	-	736	45
17	885	73	-	767	45

注) 「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」が含まれている。

図 5 長期欠席者の理由別推移



$$\text{生徒千人当たりの長期欠席者数} = \frac{\text{各年度間の長期欠席者}}{\text{各年5月1日現在の生徒}} \times 1000$$

表10 全生徒数に占める
不登校の比率
(単位:%)

年度間	富山県	全国
平成 13	2.63	2.81
14	2.47	2.73
15	2.54	2.73
16	2.39	2.73
17	2.52	2.75

$$\text{比率} = \frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在生徒数}} \times 100$$

図 6 長期欠席者の推移

